

## 池田憲二室長が土木学会田中賞（論文部門）を受賞

構造研究室

**論文名：**常時微動計測に基づく非比例減衰系の構造同定と長大吊橋への適用例

**共著者：**阿部雅人、藤野陽三、長山智則

構造研究室の池田憲二室長が平成14年度土木学会田中賞（論文部門）を受賞いたしました。

本論文は、従来は困難であるとされていたノイズの大きい常時微動データから高次振動モードの同定や近接モードの分離に成功し、土木構造物のモニタリングに適した形で理論体系を構築するとともに、白鳥大橋においてその適用性を検証し、良好な結果を得ています。また、いろいろな風速下における常時微動データから非定常空気力の影響の検出に成功し、風洞試験結果と整合することを示したのは世界で初めてであり、本論文は極めて独創的で高い学術的価値を有するのみならず、常時微動は起振源を必要とせず、供用中の橋梁においても計測可能であることなど実用的にも大きな意義を持ち、維持管理時代における橋梁工学の発展に大きく貢献したことから、田中賞に値すると認められました。

なお、北海道における田中賞の受賞履歴は、作品部門において、十勝大橋、白鳥大橋、士狩大橋の例がありますが、論文部門では初めてのことです。

（文責：佐藤 睦治）

